

# PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ



## 親愛なるチェンジメーカーの皆さん

誰かの人生を豊かにするために皆さんが奉仕することで、皆さん自身の人生も経験豊かになっていくと私は確信しています。読み書きができるように支援することも誰かの人生を豊かにする一つの方法です。読み書きができるようになると、新しい世界が開けます。生活の情報がより入ってくるようになり、他の文化が理解できるようになります。読み書きを覚えることで人々とつながることができ、他の人を思う心を言葉で表現できるようになります。

9月は基本的教育と識字率向上月間です。識字率の向上は、貧困からの脱却、健康の増進、平和の推進という私たちが目的とする活動において非常に重要です。低所得国で全ての子どもたちが基本的な読解力を習得すれば、世界的な貧困率が大幅に低減するのです。

学びのチャンスがなければ、読み書きができない子どもは読み書きができない大人になるだけです。今日では、全世界の成人人口の14%（7億6,200万人）が基本的な読解力と文章力を習得していません。その3分の2が女性です。読み書きの能力と数的思考力は、一生の間によりよい住宅、健康、雇用の機会を手にするために必須のスキルです。

特に女性にとって、読解力の有無は生死に関わることもあります。全ての女子が初等教育を修了できれば、衛生観念も身に付き、出産で命を落とす女性の数は激減するでしょう。また、読み書きができる母親の子どもは、5歳になる前に命を失う可能性が低くなります。世界中でより多くの人の人生をより豊かにするには、各国政府が女子の教育への障壁をなくさなくてはなりません。男子中心の学校教育を行っている国では、経済的な機会損失は年に10億ドル以上にも上るとい説もあります。

教育によって人々に力を授けることこそ、私たちがロータリアンとして掲げる目標の中でも、最も果敢な目標で

す。読み書きができないために誰かに読んでもらわなければならなかったり、自分の名前しか書けなかったりと日々の暮らしがままならない人々は、決して遠い存在ではありません。

どうすれば識字率向上によって人々の暮らしを豊かにするための奉仕ができるか、今月はその方法を模索してみましよう。大人に読み書きや地域で話される言語を教える無料プログラムを提供している地元の団体や、読み書きに重点を置いた教師の専門能力開発を行う団体を支援しましょう。識字率向上のメンターになりましょう。世界中の子どもたちの学習機会を増やすために活動している Global Partnership for Education などの団体と協力しましょう。地元の学校や図書館に、既に行われているプログラムを支援できないか、または地元で必要とされているプログラムを立ち上げられないか、相談してみましよう。

インドのロータリークラブとインド政府が協力して大きな成果を挙げた TEACH program は、大規模な識字率向上プログラムを行うことにより、何百万人もの子どもたちを支援することができました。新型コロナウイルスのパンデミックのためインド中の学校が休校になった際には、このプログラムは Eラーニングにより国営放送を使って、1億人を超える子どもたちに教育を提供しました。

読み書きの習得は、貧困を脱出するための第一歩です。ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが言うように、「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、1本のペン、それで世界を変えられる」のです。

シェカール・メータ

2021-22年度 国際ロータリー (RI) 会長